SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は憐れみについて何と言っているか?——ザ・ファウンデーション ストロングス番号付きKJV聖句

THE FOUNDATION • THE ORIGINAL STUDY, SET IN THE ANCIENT ORDER

あわれみ — 聖書的基礎教理

開会の言葉

> *慈しみは感情だけではない。それは行動である。古い言語ではそれは二つの言葉で表される。第一はチェセド(H2617、慈しみ)である。これは契約から流れ出る慈しみ——約束によって結ばれた優しさ、信実を守るものである。第二はラーカム(H7356、深い慈しみ)である。これは父が子に対するように、より大いなる者からより小さき者へと流れ下る深い愛である。すべての慈しみは神から流れ出る。神はまず私たちに慈しみを示され、そして私たちが互いにそれを示すことを求められる。そして私たちがそれを行うとき、栄光は私たちにではなく、神とキリストに帰する。神の慈しみは救いの慈しみである。それはロトを火の中から救い出した。それはヤコブを守った。ヤコブはその最も小さきものにも値しない者であった。そしてそれは詩篇全体に響き渡る。「その慈しみは永遠に絶えることがない」。神のすべての慈しみの目的はただ一つ——救うことである。私たちが行った行いによってではなく、神はその慈しみによって私たちを救われた。それを調べ尽くしなさい。*

本研究が答える三つの問い:

1. 旧言語における「慈悲」を表す二つの言葉は何であり、慈悲はいかにして単なる感情ではなく行動であるのか。
2. 神は私たちにどのような憐れみを求めておられるか、またその憐れみはどこから来るのか。
3. 神の憐れみの目的は何であり、それはどのように永遠に絶えないのか。

ギリシャ語キーワード

“慈悲” — **G1656 eleos** — 関係において当然示すべき親切、あわれみ、同情
救いの時代は憐みの時代である—キリストにおける神の救いの御業

“憐れむ” — **G1653 eleeo** — 哀れみを示すこと、同情すること、憐れむこと
道端での叫び——私を憐れんでください——と、他者に示された憐れみ(善きサマリア人)

“慈悲深い” — **G1655 eleemon** — 哀れみに満ち、慈悲深い

憐れみ深い者は幸いである、その人は憐れみを受けるからである。憐れみ深い大祭司

“慈善” — **G1654 eleemosyne** — 困窮した者への行いによって示されるあわれみ、贈り物
手を用いて働く憐れみ — 施し、ドルカスの良い行い

ヘブライ語キーワード

“慈悲” — **H2617 chesed** — 契約に基づく慈しみ;確かな、揺るぎない憐れみ
契約から流れ出るあわれみ——信頼と真実をもって、とこしえに保たれる行為

“慈しみ” — **H7356 racham** — 同情、あわれみ。同じ語は他の箇所では「胎」と訳されている
より大きなものから小さなものへと流れ下る深い愛——母のように深く、決して絶えることがない

OPENING ANCHOR(冒頭のアンカー)

テトスへの手紙 3:5 わたしたちの 行 った 義 のわざによってではなく、ただ 神 のあわれみによって、 再生 の 洗 いを 受 け、 聖霊 により 新 たにされて、わたしたちは 救 われたのである。

原語キー / STRONG’S: ⚑ G1656 eleos

私たちが行った義の行いによるのではなく、その憐れみによって、神は私たちを救われた。

(私個人の考え——ここに、この研究全体の目的がある。憐れみは救う。それは人にその行いによって支払われるものではなく、神が憐れみ深いゆえに人に示されるものである。そして、その憐れみは単なる言葉ではない——それは新しい誕生の洗い、水と御霊とによって救うのである。)

I. 憐れみは行為である―神が私たちに求めておられること

A. マタイによる福音書 9:13 『わたしが 好 むのは、あわれみであって、いけにえではない』とはどういう 意味 か、 学 んできなさい。わたしがきたのは、 義人 を 招 くためではなく、 罪人 を 招 くためである」。

原語キー / STRONG’S: ⚑ G1656 eleos

わたしは憐れみを喜び、犠牲を喜ばない → わたしが来たのは、罪人を悔い改めに召すためである。

(私自身の思い — 神は、祭壇に捧げられる供え物よりも、憐れみが示されることを望まれる。憐れみとは心の内に閉じ込められた感情ではなく、他者に対して行われる行為である。)

B. ルカによる福音書 10:37 彼 が 言 った、「その 人 に 慈悲 深 い 行 いをした 人 です」。そこでイエスは 言 われた、「あなたも 行 って 同 じようにしなさい」。

原語キー / STRONG’S: ⚑ G1656 eleos

彼に憐れみを示した者である。 → 行って、あなたも同じようにしなさい。

(私自身の考え——通り過ぎた三人のうち、隣人であったのはただ一人であり、それは慈悲を行った者であった。慈悲は手を通して働き出る——行きて、汝も同じく為せ。)

C. マタイによる福音書 18:33 わたしがあわれんでやったように、あの 仲間 をあわれんでやるべきではなかったか』。

原語キー / STRONG’S: ⚑ G1653 eleeo ・ ⚑ G1653 eleeo

あなたも、あわれんでやるべきではなかったか → わたしがあなたをあわれんだように。

(私の個人的な考え——神が私に求めておられる憐れみは、神がまず私に示してくださった憐れみの上に成り立っている。神は私を多く赦してくださった。だから私も赦さなければならない。私のすべての憐れみは、応答としての憐れみである。)

D. ヤコブの手紙 2:13 あわれみを 行 わなかった 者 に 対 しては、 仮借 のないさばきが 下 される。あわれみは、さばきにうち 勝 つ。

原語キー / STRONG’S: ⚑ G1656 eleos

あわれみを行わなかった者 → 仮借のないさばきが下される + あわれみは、さばきにうち勝つ。

E. マタイによる福音書 5:7 あわれみ 深 い 人 たちは、さいわいである、 彼 らはあわれみを 受 けるであろう。

原語キー / STRONG’S: ⚑ G1655 eleemon ・ ⚑ G1653 eleeo

あわれみ 深 い 人 たちは → 彼 らはあわれみを 受 けるであろう.

(私の個人的な思い——私が施す慈しみと、私が受ける慈しみとは結びついている。与えよ、そうすれば与え返される。慈しみか、それとも慈しみのない裁きか。そしてそのすべてはまず神から流れ出る——栄光は神とキリストのものであり、私のもので

はない。)

II. キリストにある神の救いの憐れみ

A. エペソ人への手紙 2:4 しかるに、あわれみに 富 む 神 は、わたしたちを 愛 して 下 さったその 大 きな 愛 をもって、 (5) 罪過 によって 死 んでいたわたしたちを、キリストと 共 に 生 かし――あなたがたの 救 われたのは、恵 みによるのである――

原語キー / STRONG'S: ⚑ G1656 eleos

あわれみに富む神は、キリストとともに私たちを生かしてくださった。恵みによって、あなたがたは救われたのである。

B. ペテロの第一の手紙 1:3 ほむべきかな、わたしたちの 主 イエス・キリストの 父 なる 神 。 神 は、その 豊 かなあわれみにより、イエス・キリストを 死人 の 中 からよみがえらせ、それにより、わたしたちを 新 たに 生 れさせて 生 ける 望 みをいだかせ、

原語キー / STRONG'S: ⚑ G1656 eleos

その大いなる憐憫により → 我らを新に生れしめ、活ける望みを得させたまへり。

C. ヘブル人への手紙 2:17 そこで、イエスは、 神 のみまえにあわれみ 深 い 忠実 な 大祭司 となって、 民 の 罪 をあがなうために、あらゆる 点 において 兄弟 たちと 同 じようにならねばならなかった。

原語キー / STRONG'S: ⚑ G1655 eleemon

憐れみあるまた忠実な大祭司 → 民の罪のために和解をなすため。

(私の個人的な考え――キリストが来られる前にも憐れみは存在したが、それはまだ full ではなかった。真の憐れみは、最終的に彼のうちに示される。すなわち、憐れみ深い大祭司であり、民の罪を神と一つとするために携えて行かれる方である。救いの時代とは、憐れみの時代である。)

III. 憐れみを求める叫び

A. マルコによる福音書 10:47 ところが、ナザレのイエスだと 聞 いて、 彼 は「ダビデの 子 イエスよ、わたしをあわれんでください」と 叫 び 出 した。 (48) 多 くの 人々 は 彼 をしかって 黙 らせようとしたが、 彼 はますます 激 しく 叫 びつづけた、「ダビデの 子 イエスよ、わたしをあわれんでください」。

原語キー / STRONG'S: ⚑ G1653 eleeo ・ ⚑ G1653 eleeo

イエスよ、ダビデの子よ、我を憐れみたまえ ―― 彼はますます叫び続けた。

(私の個人的な思い――憐れみは名を呼んで求め叫ぶことができる。人々が彼に黙るよう命じるほど、彼はますます叫び続けた。そして彼への憐れみは止まらなかった。憐れみは当然のものとして主張されるのではなく、期待され望まれるものである――それでも、それは叫び求める者に応える。)

IV. 手をもって働く憐れみ ― 教会を通しての施し

A. ルカによる福音書 11:41 ただ、 内側 にあるものをきよめなさい。そうすれば、いっさいがあなたがたにとって、 清 いものとなる。

原語キー / STRONG'S: ⚑ G1654 eleemosyne

あなた方の持っている物を施しにせよ。そうすれば、すべての物はあなた方にとって清くなる。

B. 使徒行伝 9:36 ヨッパにタビタ（これを 訳 すと、ドルカス、すなわち、かもしか）という 女 弟子 がいた。 数々 のよい 働 きや 施 しをしていた 婦人 であった。

原語キー / STRONG'S: ⚑ G1654 eleemosyne

数々 のよい 働 きや 施 しをしていた 婦人 であった.

(私の個人的な考えでは、新約聖書において賜物はまず教会に流れ、教会から兄弟姉妹たちへ、そして外にいる者たちへと流れていく。それゆえ必要は順序をもって満たされ、その捧げ物は虚栄や一人の人間の意志に向けられることはない。)

V. 契約から流れる憐れみ ― ロト、そしてヤコブ

A. 創世記 19:19 しもべはすでにあなたの 前 に 恵 みを 得 ました。あなたはわたしの 命 を 救 って、 大 いなるいつくしみを 施 されました。しかしわたしは 山 まではのがれる 事 ができません。 災 が 身 に 追 い 迫 ってわたしは 死 ぬでしょう。

原語キー / STRONG'S: ⚑ H2617 chesed

あなたはあなたの憐れみを大きくされた → わたしのいのちを救うことによってわたしに示された。

(私自身の思い——神の憐れみは、人が進んで行こうとする限りどこまでも彼を導き、彼が神の愛の配慮を十分に確信するまで彼と共にとどまってくださる。ロトは山に上ろうとしなかった。生まれながらの人は町なしには生きられない。)

B. 創世記 19:29 こうして 神 が 低地 の 町々 をこぼたれた 時 、すなわちロトの 住 んでいた 町々 を 滅 ぼされた 時 、 神 はアブラハムを 覚 えて、その 滅 びの 中 からロトを 救 い 出 された。

神はアブラハムを覚えて → ロトを滅びの中から送り出された。

(私の個人的な考察——ロトが救われた理由に注目せよ。神がアブラハムを覚えておられたのである。ロトを救った憐れみは、神が別の者と結ばれた契約を通して流れ下ったものであった。契約の憐れみは、それを受ける者本人よりも遠くまで及ぶのである。)

C. 創世記 32:10 あなたがしもべに 施 されたすべての 恵 みとまことをわたしは 受 けるに 足 りない 者 です。わたしは、つえのほか 何 も 持 たないでこのヨルダンを 渡 りましたが、 今 は二つの 組 にもなりました。

原語キー / STRONG'S: ⚑ H2617 chesed

あなたがしもべに 施 されたすべての 恵 みとまことをわたしは 受 けるに 足 りない 者 です.

(私自身の考察——人がいと小さき憐れみにさえ値しないということこそが、まさに感謝を生み出すものである。なぜなら憐れみは賜物であって、報酬ではないからである。当然受けるべきものは感謝を生まない。無償で与えられるものこそが賛美を生む。)

D. 創世記 32:12 あなたは、かつて、『わたしは 必 ずおまえを 恵 み、おまえの 子孫 を 海 の 砂 の 数 えがたいほど 多 くしよう』と 言 われました」。

私は必ずあなたに良くする→あなたの子孫を海の砂のようにする。

(私の個人的な考え——憐れみの目的は救いであり、神の愛の完成である。ヤコブは救い出され、その子孫もまた救い出されるであろう。憐れみは善を行い、それを終わりまで行うのである。)

VI. 主のあわれみはとこしえに至る

A. 詩篇 136:1 主 に 感謝 せよ、 主 は 恵 みふかく、 そのいつくしみはとこしえに 絶 えることがない。

原語キー / STRONG'S: ⚑ H2617 chesed

主 に 感謝 せよ、 主 は 恵 みふかく → そのいつくしみはとこしえに 絶 えることがない.

B. 詩篇 136:4 ただひとり 大 いなるくすしきみわざを なされる 者 に 感謝 せよ、 そのいつくしみはとこしえに 絶 えることがない。

原語キー / STRONG'S: ⚑ H2617 chesed

ただひとり 大 いなるくすしきみわざを なされる 者 に 感謝 せよ → そのいつくしみはとこしえに 絶 えることがない.

(私の個人的な思い——詩篇全体を通して、その一行が何度も何度も響いている。主の憐れみは永遠に絶えることがない。数々の奇跡、天、日と月、荒野を導かれたこと——そのすべてが、主の憐れみには終わりがないことを私たちに思い出させるために置かれている。)

C. 詩篇 136:23 われらが 卑 しかった 時 に われらをみこころにとめられた 者 に 感謝 せよ、 そのいつくしみはとこしえに 絶 えることがない。 (24) われらのあだからわれらを 助 け 出 された 者 に 感謝 せよ、 そのいつくしみはとこしえに 絶 えることがない。 (25) すべての 肉 なる 者 に 食物 を 与 えられる 者 に 感謝 せよ、 そのいつくしみはとこしえに 絶 えることがない。

原語キー / STRONG'S: ⚑ H2617 chesed

私たちの低い状態を覚えてくださった + 私たちを敵から贖い出してくださった + すべての肉なる者に食物を与えてくださる → その憐れみはとこしえに絶えることがない。

閉会

詩篇 136:26 天 の 神 に 感謝 せよ、 そのいつくしみはとこしえに 絶 えることがない。

原語キー / STRONG'S: ⚑ H2617 chesed

天 の 神 に 感謝 せよ → そのいつくしみはとこしえに 絶 えることがない.

エペソ人への手紙 2:4 しかるに、あわれみに 富 む 神 は、わたしたちを 愛 して 下 さったその 大 きな 愛 をもって、 (5) 罪過 によって 死 んでいたわたしたちを、キリストと 共 に 生 かし——あなたがたの 救 われたのは、 恵 みによるのである——

原語キー / STRONG'S: ⚑ G1656 eleos

あわれみに富む神は、キリストとともに私たちを生かしてくださった。恵みによって、あなたがたは救われたのである。

(私の個人的な思い——この学び全体を一行にまとめるなら、憐れみは行為であり、それは神から流れ出る。それは古い言語では二つの言葉である——信を守る契約の憐れみと、低き者へと流れ下る深い愛。神がまずそれを示され、私たちにも互いにそれを示すよう求められる。それはロトを火から連れ出し、その最小のものにも値しなかったヤコブを守り、終わりなき詩篇全体を通して響き渡る。そしてそのすべての目的は救うことにある。憐れみ豊かな神は、キリストと共に私たちを生かしてくださった。その憐れみはとこしえに絶えることなく、救いに至るまで絶えることがない。)

練習クイズ

1. テトス3:5 — わたしたちの行った義のわざによってではなく、ただ神のあわれみによって、神は:

a)悔い改めへとわたしたちを召された
わたしたちを救われた
c) 私たちを再び生んだ

2. マタイ9:13 — わたしが好むのは、あわれみであって、

a) 裁き
犠牲
c) 施し

3. マタイ5:7 — あわれみ深い人たちは、さいわいである、彼らは:

あわれみを受ける
b) 神を見る
c) 慰められること

4. エペソ人への手紙2:4 — しかるに、あわれみに富む神は、わたしたちを愛して下さったその大きな愛をもって:

a) 行いによって私たちを救った
b) 生きた望みへとわたしたちを再び生まれさせた
私たちをキリストと共に生かして下さった

5. 創世記32:10 — わたしは、あなたがしもべに施されたすべての:

あわれみと、すべてのまこと
LORDのくすしきわざ
c) アブラハムの祝福

6. 創世記19:29 — 神が低地の町々を滅ぼされた時、神はアブラハムを覚えて、

ロトを滅びの中から救い出された
b) ツォアルの町を助けた
c) 平地にあわれみをかけた

7. 詩篇136篇23節 — われらが卑しかった時にわれらをみこころにとめられた者に:そのいつくしみは

永遠から出るものである
b) 神のすべてのみわざの上にある
c) そのいつくしみはとこしえに絶えることがない

解答:1-b、2-b、3-a、4-c、5-a、6-a、7-c

このスタディの分岐

言葉がいかに重要か:古い言語には二つの憐れみの言葉がある — チェセド(H2617、憐れみ)、契約の慈しみ、そしてラーカム(H7356、優しい憐れみ)、流れ下る愛である;新しい言語には三つある — エレオス(G1656、憐れみ)、行動する憐れみ;エレエオー(G1653、憐れみを持つ)、求められ示される憐れみ;そしてエレエモシュネー(G1654、施し)、手をもって与える憐れみである。

新しい契約がそれをさらに開く様子:アブラハムのためにロトに示されたあわれみ(創世記19:29)は、キリストにおいて広く開かれる — あわれみに富む神は、私たちをキリストとともに生かしてくださった(エペソ2:4-5)。契約のあわれみは、すべての人のための救いのあわれみとなった。

それがユダヤ人と異邦人にどう関わるか:先祖たちに誓われた憐れみと、道端で盲目の乞食が叫び求めた憐れみ(マルコ10:47)は、同じひとつの憐れみである。それは受け入れる者すべてに流れ込む。

あなたにとっての適用:盲人が来た道のように来なさい――叫び続けて、黙らせられてはならない(マルコ10:48)。自らの手で慈しみを示しなさい(ルカ10:37)。そして感謝しなさい、あなたはどのようなあわれみにも値しない者だからである(創世記32:10)。

永遠にとって意味すること:憐れみの目的は救いであり(テトス3:5)、その憐れみはとこしえに絶えることがない(詩篇136:26)。それはその働きを始められた方であり、それを成し遂げるまで止めることはない。

余談:ヨハネのバプテスマは、来るべき怒りから逃れて神の憐れみに至る道であった(マタイ3:7、マルコ1:4)—水が救ったのではなく、それは正しい良心の応答であった(ペテロ第一3:21)。彼らは自分たちが裁きに値することを知り、その代わりに憐れみを求めたのである。

可能な啓示：憐れみは期待され、望まれるものであり、報酬として主張されるものではない — 期待されるものは与え主の手にあるが、報酬は受け取る者が支配するものである。それゆえ憐れみは常に賜物であり、賜物は感謝をもたらし、感謝はすべての栄光を神に帰す。（私自身の考え）

救われるためには何をしなければならないか

> *「救われるためには何をすべきか」という私たちの聖書研究をご覧ください*

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEPBible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEPBible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS ・ wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).